

5病棟SSTミーティング

開放病棟患者様対象のリハビリテーションの一環として実施
毎週火曜日 7・8名の方を1グループとして1クール約5ヶ月間

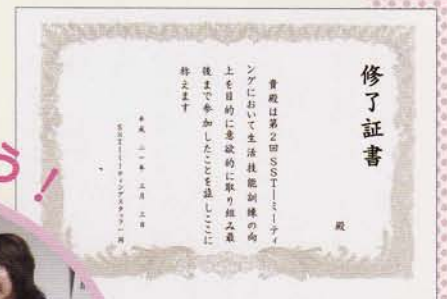
当院のこの「SSTミーティング」は、生活技能訓練 (Social Skills Training, 略してSST) を基本にし、集団精神療法における「自己表現」「集団内の対人関係の相互作用を用いて、対人場面での不安や葛藤の除去」「患者様自身の精神症状・問題行動に関する自己洞察の深化」「対人関係技術の習得」の目的も取り入れたプログラムです。いわば話し合いと実践を通じて、それぞれの能力を引き出し、一人ひとりに応じた社会復帰を目指そうとするものです。病棟の2名の看護師と臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士各1名がチームで担当し、心理教育講師として4回のうち1、2回は薬剤師の応援もあります。

平成16年度からハッピーガーデンという空間で実施していますが、病棟では見られなかった能力や意欲が発見されることもあり、その一言にハッとさせられたり、後退していると思われていた能力がかいま見られたりする事で、人間の持つ可能性を信じないわけにはいきません。一面だけしか見ずにその人の能力を決めようとしていた私達こそ、省みるべきだと思ったりします。

20年度10月から3月までのメンバーとは、外出を2回体験。前後ミーティングや心理教育を重ね、最終回を迎えました。当初自分で設定した目標について、100%達成できた方もあり、6名の方に最後まで参加できた事を称える「修了証書」が渡されました。以前ベッドで臥せることの多かった方が外出できるようになったり、自分なりの意見を言えるようになったり、服薬自己管理レベルが上がったり……など、スタッフも、少しずつ良いところを発見する事ができました。歩みはゆっくりですが、今後も少しずつ参加メンバーを増やし、彼らの動向を見守っていきたいと思っています。

5病棟では……

5病棟は比較的長期入院の患者様が多い開放病棟です。なかなかすぐには退院が難しい方もいらっしゃると思いますが、より豊かな生活を目指して、SSTミーティングや作業療法、音楽療法、園芸療法、レクリエーションなどを行い、1人ひとりの残存能力を生かすよう工夫しています。



医療法人睦み会の最も大切にしているもの

ロマン (理念)

心と身体を癒し続け

人生をより豊かなものとし

今を共に語り合い支え合って生きる

基本方針

- ① ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をことさら大切に生きて生きる
- ② 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
- ③ 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
- ④ 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う
- ⑤ 互いに支え合う共生社会を作り上げる